

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-519472(P2006-519472A)

【公表日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-033

【出願番号】特願2006-508802(P2006-508802)

【国際特許分類】

H 01 R 13/46 (2006.01)

【F I】

H 01 R 13/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月14日(2007.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面、後面、4つの側面、2つ以上の第1接点(64、66、74)、および3つ以上の第2接点(76、68)を有する、通信分野における機能モジュール(14、114、324)であって、各第1接点(64、66、74)は少なくとも1つの第2接点(76、68)に接続され、上記接点(64、68)は、少なくとも1つの接点モジュール(12、112、312)の第1(16)および第2接点(70)に接続されるように適合され、この接点モジュールはワイヤをそれに接続するように適合した接点をさらに含み、そして上記機能モジュール(14、114、314)の上記第1(64)および上記第2接点(68)と上記接点モジュール(12、112、312)の上記第1(16)および上記第2接点(70)との間に電気的接続を確立するように、上記接点モジュール(12、112、312)に嵌合可能である機能モジュール(14、114、314)。

【請求項2】

上記第1接点(64、66、74)が上記機能モジュール(14、114、314)の第1側面に配置され、上記第2接点(76、68)が第1側面の反対側の第2側面に配置される、請求項1に記載の機能モジュール。

【請求項3】

上記接点(64、68)がフック形である、請求項1に記載の機能モジュール。

【請求項4】

請求項1に記載の少なくとも1つの機能モジュール(14、114、314)と、少なくとも1つの接点モジュール(12、112、312)と、を備える通信モジュール(10、110、310)。

【請求項5】

上記ワイヤガイド(20、22)が上記接点モジュール(12、112、312)に設けられる、請求項1に記載の通信モジュール。

【請求項6】

請求項4に記載の2つ以上の通信モジュール(10)のアセンブリ(200)。

【請求項7】

上記通信モジュール(10)がバスの手段を用いて接続される、請求項6に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

1つ以上の通信モジュール(10)に接続される制御モジュール(206)をさらに含む、請求項6に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

通信モジュールを取付ける方法であって、

第1に、ワイヤを接続するように適合した接点を含む、少なくとも1つの接点モジュールを取付ける工程であって、この接点モジュールに請求項1～3のいずれか一項に記載の機能モジュールが嵌合可能である工程と、

第2に、機能モジュールの接点と接点モジュールの接点との間に電気的接続を確立するように、請求項1～3のいずれか一項に記載の少なくとも1つの機能モジュールを少なくとも1つの接点モジュールに嵌合させる工程と、

を含む方法。